

「実験」の基礎を学ぼう!!

わたしたちはさまざまな評価指標を用い、「商品スペックを満たしているか?」「不具合の可能性はないか?」などについて検討しています。そして、それらを事前に把握するために、論理計算やCAEを用いています。しかしながら、論理計算やCAEで用いる材料定数(Ex.ヤング率、熱伝導率、熱伝達率、減衰係数)や評価指標(応力、ひずみ、温度、固有振動数)がどのように測定されていて、どの程度の精度を持つのか、また、測定そのものがどれくらい大変であるかについて、あまり知られてないのではないのでしょうか?

そこで、関西CAE懇話会では、基礎的な実験にターゲットをあて、実験を身をもって体験する“実学”の中で、改めて実験、論理の重要性を考える分科会を発足しました。日頃、あまり実験を行わない方はもちろん、改めて実験について学ぼうと言う方も大歓迎です。また、単発での参加もOKです。ご検討ください。

内容案:

(詳細は決まり次第、別途ご案内いたします。)

1. 片持ち梁を用いた静ひずみの測定・CAEとの比較
2. 実験モーダル解析: 振動計算に必要なデータの測定
3. 熱電対を用いた温度の測定
4. 風洞実験などによる流量、流速の測定